学校番号	216

平成 31 年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書道Ⅱ　（東京書籍）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

■書道Ⅰで学習した筆の弾力を最大限に生かす方法を大筆だけではなく小筆や硬筆にも応用し、生き生きとした文字を書けるようにしましょう。
■小筆で仮名を書くことにより筆の弾力を使いこなし、石印材に文字を彫るためのデザインを小筆を使ってすることにより、鑑賞力を高めながらさまざまな技術を身につけることをめざします。
■身近に飾れる作品、将来手元に置いておきたい作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a. 書への関心・意欲・態度	b. 書表現の構想と工夫	c. 創造的な書表現の技能	d. 鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

月	単元･題材名	学習内容･活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

4 5 6	かなの書 漢字かな交じりの書 （連綿の学習から臨書、そして作品制作へ）	・硬筆でのかな連綿 ・かなの成り立ちを知る。 ・小筆によるかな連綿 ・墨色の変化を知る ・かな古典作品、および料紙の鑑賞 ・かな古典作品の臨書 ・散らし書きの効果を知る ・新料紙への散らし書き作品制作	 ○ ○	 ○ 	○ ○ 	 ○ ○ ○	a：墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b: 小筆によるかなの筆使いについて理解し、表現を工夫している。 c: かなの筆使いを身に付け、漢字と調和させる表現をしている。 d: 表現方法と料紙との関連性を味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品
6 7	表具	・アイロンによる漢字かな交じり作品裏打ち ・パネルマット貼り ・作品貼り込み ・相互鑑賞会	○	 ○	 ○	 ○	a：表具について関心を持ち、美しく仕上げるための努力をしている。 b：作品効果を考えて材料等を工夫している。 c：用具用材の使用法を身につけ丁寧な作業をしている。 d：見せるための効果的な展示方法を味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品
8	かなの書 漢字かな交じりの書 （硬筆）	・硬筆によるかなの書、漢字かな交じりの書、 （夏期休業中の課題としても扱う。）		○		○	a：日常的な書写能力を身に付け、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b: かなの書、漢字かな交じりの書の授業で身に付けた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c: かなの書、漢字かな交じりの書の授業で身に付けた基礎的な技能を生かして表現している。 d：日常生活の硬筆の書の効用について理解し、そのよさを味わっている。	・観察 ・提出作品
9 10 11 12	刻字 （漢字2字による板材への作品制作）	・2字熟語の字調べ ・原稿作成 ・転写 ・刻す ・彩色	○	 ○	 ○ ○	 ○	a: 文字調べを通じて五体に興味を持った上で筆意や文字造形について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:刻字における分間布白を理解して、表現を工夫し、潤筆や渇筆を理解した上で効果的に表現する。 c: 原稿作成において筆の弾力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身に付け表している。また彫刻刀の使い方を十分理解し、切れ味を出している。 d: 木材の特性を理解し色味の違う部分を考え、そのよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品

12	生活の中の書	・年賀状 ・ペン字 (冬期休業中の課題)		○		○	a: 身の回りにあるさまざまな書式について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:年賀状などの基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 c:基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身に付け表している。 d:暮らしの中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	・観察 ・提出作品
1 2	小筆による実用的な書	・干支、賀寿の学習 ・のし袋等の書式、冠婚葬祭の常識を学ぶ ・細字の練習 ・葉書の宛名の書き方を学ぶ ・季節の挨拶を学ぶ ・手紙の書式を学ぶ	○ ○	○	○ ○	○	a:身の回りにある書について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:楷書と行書それぞれのよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c: 使用目的に応じた表現の技能を身に付け表している。 d: 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品
3	大作を作ってみよう	漢字１文字を半截に書く				○	a:五書体(楷書・行書・草書・隷書・篆書)の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c: 逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け、特大筆に応用している。 d: 1 年次に制作した篆刻作品(名印)を押印し、表現活動のうえで、作品の余白における朱の重要性を理解している。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品

※ 表中の観点について a…書への関心・意欲・態度　b…書表現の構想と工夫
c…創造的な書表現の技能　d…鑑賞の能力

※原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。